何処に行ったの？

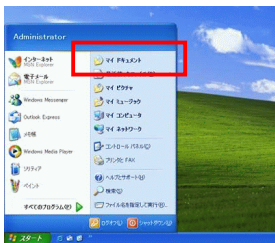
ダウンロードしたファイル、迷子になっていませんか？

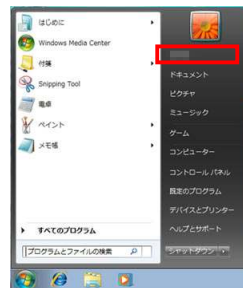
みなさんはWebサイトから何かをダウンロードしたことはありますか？家電製品やパソコンなどの取扱説明書などを紛失してしまったときにWebサイトからすぐにダウンロードできるのは便利ですよね。しかし、ダウンロードしたファイルの保存場所が分からなくなったり、保存場所をどこにするか悩んだりしたことはありませんか？今回はWindowsのバージョンやブラウザごとで、保存場所の初期設定、保存場所の変更方法をご紹介します。

ダウンロードしたファイルは何処に行くの？

Windowsには、ダウンロードしたファイルの保存先の初期値というものがあります。InternetExplorer9では、保存先も聞かれず、指定のフォルダにダウンロードされ、保存されてしまいます。ダウンロードしたファイルの保存先の初期値は何処なのでしょう？

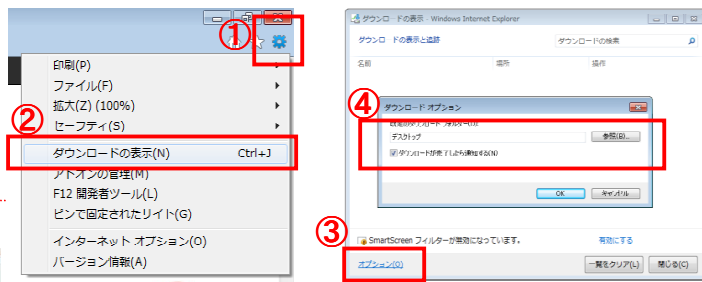
■ WindowsXPの場合

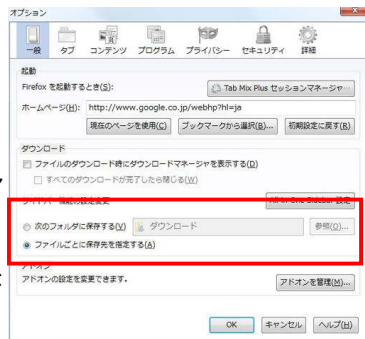
WindowsXPの場合は、「マイドキュメント」の「ダウンロード」フォルダが初期値になっています。何も変更せずに保存した場合はダウンロードフォルダに保存されます。但し、保存先を変更すると次回からは変更したフォルダが保存先の初期値になります。**最後に保存したフォルダが次の保存時の初期値になる**のです。もし、ダウンロードしたすぐに、保存先が分からなくなった時は、もう一度ダウンロードしようとすれば、前回の保存先を確認することができます。

■ WindowsVista/7の場合

WindowsVista/7の場合も、「ダウンロード」フォルダが初期値になっています。ダウンロードフォルダは、XPと違いドキュメントフォルダには無く、ユーザー名のフォルダの中にあります。**「スタート」→「ユーザー名」→「ダウンロード」**となります。XPではダウンロードフォルダのアイコンは普通のアイコンでしたが7では**矢印がついた専用アイコン**になっていますのですぐに見つけられます。

保存先の設定を変えて、ダウンロードファイルを管理しよう！

ダウンロードファイルの保存場所の初期値は、自由に変更する事ができます。自分にとって分かりやすい場所に変更できるのです。

■ InternetExplorer9

設定アイコン（歯車のアイコン）をクリックして「ダウンロードの表示」をクリックします。開いたウインドウの「オプション」をクリックします。「ダウンロードオプション」ウインドウが開くので、「**既定のダウンロードフォルダー**」に好きなフォルダーを指定します。

■ Firefox

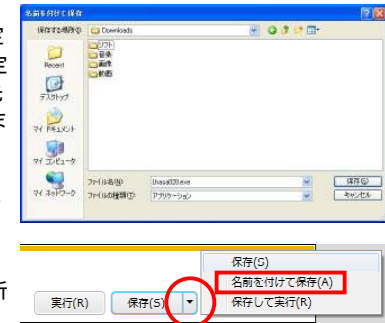
画面上部の「ツール」ボタン→「オプション」を順にクリックします。開いた画面の「一般」タブの中の「**次のフォルダに保存する**」のチェックを確認して、保存先フォルダを指定します。「**ファイルごとに保存先を指定する**」にチェックすると、ダウンロードのたびに保存先を聞かれますので、知らないうちにどこかに保存されたということもなくなります。

■ Chrome

画面右上のレンチアイコン→「設定」の順にクリックします。「**詳細設定を表示…**」をクリックして、画面を「ダウンロード」セクションまでスクロールさせます。**ダウンロードの保存先を変更する時は「変更」をクリックして保存先フォルダを選択**します。Firefox同様に、ダウンロードのたびに保存先を変更することもできます。

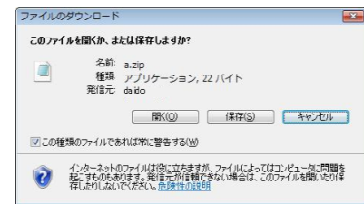
種類ごとに整理しよう！

ダウンロードしたファイルをあとから見たときに何のファイルなのか分からなくなることありませんか？そうならないためにフォルダ分けしてわかりやすく整理しましょう。

設定したダウンロード先の中でさらにフォルダを作成し、ソフト等は「ソフト」フォルダに、写真素材等は「写真」フォルダに入れるなど分けるとよいでしょう。

Firefoxや**Chrome**は、設定でファイルごとに保存先を指定するようにしておけば、保存先を指定するウインドウが開きます。**InternetExplorer9**の場合、保存先を指定するには**保存ボタン右側の▼をクリックして「名前を付けて保存」をクリックします。**これでダウンロードするファイルの保存場所を指定する画面が開きます。

「実行」より「保存」をおすすめします！

ファイルをダウンロードする時、「保存」と「実行」の2つのボタンがありますが、あなたはいつもどちらをクリックしていますか？

「実行」は、一時利用フォルダにダウンロードされ、**ダウンロード終了後に即時に実行**されます。「保存」は、**指定したフォルダにダウンロードして保存**され、実行はされません。ダウンロードしたファイルを、何かの機会に再度使用する事がある場合は、「保存」を選択した方が良いでしょう。

「**この種類のファイルであれば常に警告する**」のチェックを外すと、次回から確認メッセージが表示されなくなってしまいます。XPの場合はツール→フォルダオプション→ファイルの種類と辿り、確認メッセージを出したいファイルの拡張子を選択して「詳細設定」をクリックします。「**ダウンロード後に開く確認をする**」にチェックを付ければ、次回から確認メッセージが表示されるようになります。Vista/7の場合は、レジストリの変更が必要ですので注意が必要です。

開発室から

前回の「今月のおすすめ」でご紹介したNAS（HDL-A2．0）ですが、実は私も使用しています。先日、デジカメの写真ファイルを数GBコピーしたのですが、他のNASへコピーする時間の半分ほどの時間でコピーができましよ。さすが「超高速」と感心しました。